



だより



R7.7.15 Vol.16 (1学期最終号)

どうでもいい話ですが…

小さい頃(保育所の頃でしょうか?)、仮面ライダーが大好きでした。母の化粧台の椅子から、変身ポーズを決め、「とお!」颯爽と飛んでいました。(亡き母曰く、「怖がって椅子から飛べたよ!」…あれ?思い出補正がかかっているかな。笑)ショッカーの戦闘員、仮面ライダーにすぐやられる姿をみて、「こいつら弱っちいなあ。」そう思っていました。ある日、市民会館(現コミカン)に仮面ライダーがやってきました。(ステージショーですね。)近所のお兄ちゃんが連れて行ってくれました。舞台上にショッカーの戦闘員が現れました。見ていると座席にまで降りてきて、次々と子供をさらっていきます。「嫌だー!もう帰るー!」と恐怖のあまり号泣している子供もいました。…私です。(泣)近くにいた見知らぬおばさんが「ぼく、大丈夫よ、連れていかれんけん。でも泣きよったら見つかるよ。」その後はショーどころではありません。声をひそめ、ひたすら戦闘員から身を隠す一番弱っちい私でした。

今日は…

朝、登校班の友達がやってくるまで、5年生の男の子、家の前の海をよく見えています。「今日はでかい魚がいました!タコがいることもあるんですよ。」と教えてくれます。目の前にある同じ海ですが、よく見ると同じ日は一度たりとありません。絶えず変化しています。自然の移ろいを肌で感じている男の子。この地域に住んでいる人にとっては当たり前かもしれませんが、とてもよい経験をしています。方丈記で鴨長明は「行く川の流れば絶えずして、しかももとの水にあらず…」と記しています。

自然の中に変化を感じる感性は、鋭い感受性や繊細な気づきの力を育てます。現代のような気象データがない時代の人たちはそういう自然の変化から観天望氣を行いました。これは万一の自然災害においても、自分の命を守る力にもつながります。



四方山話真穴 ver2. 其の十六(頑張れ!真穴っ子!)

夏休みを目前に控え、きっと子供たちはウキウキ120%でしょう。(私もです。笑)夏休みになるとすぐに市内水泳記録会が実施されます。今年は計13人の真穴っ子たちが上位入賞、自己ベスト記録更新を目指して記録会に挑みます。「出てよかった!」と思える記録会になるよう、最後まで頑張らせたいと思っています。

今年は学級減により教員も1名減となりました。当然、一人ひとりの仕事量は増えるわけです。そんな状況ですので、「少ない人数でも十分指導できるので、別の仕事を進めてください。」と教員に声をかけるのですが、「いえ、大勢の目があつた方が、事故防止にもなりますし、万一の時の対応も迅速にできますから。」と、日々の放課後水泳練習には、全ての教師がプールに出て子供たちに関わりました。校長としてはありがたい限りです。技術的な指導をする体育主任。声を掛け、励ます学級担任。熱中症や怪我が起こらないよう見守る養護教諭。全体の動きを調整し、自ら水に入る教頭。まさにチーム真穴で進めた水泳指導となりました。

その様子を見ていて改めて感じたこと。「関わった分だけ子供は伸びる」特に水への恐怖があつた子、ほとんど泳げなかつた子、息継ぎがでけなかつた子、そんな子たちが日に日に変わっていく姿は私たち教員の喜びでした。指導後の職員室で「半分まで泳げたよ!」「25m泳げたよ!」「去年まで泳げなかつた子が今年50mいったよ!」「この調子だったら20秒切ってくるかも」そんな話で盛り上がりました。

昨今、民間に委託されたり、指導時間が削減されたりしている水泳指導ですが、自分の身を守る手段として泳ぎを身に付けることはとても大切なことです。一生懸命、子供たちに関わる教師たち、一生懸命、練習に取り組む子供たち。この一体感こそチーム真穴の真骨頂かと。23日の記録会!頑張れ!真穴っ子!

----- 切り取り線 -----

1学期間、ありがとうございました。便りの感想や学校への要望等ありましたら、お聞かせください。楽しく安全な夏休みを。